



当社グループにおける再発防止の進捗について
(第7回)

2024年12月20日

日本軽金属ホールディングス株式会社

- 特別調査委員会の調査によって報告された不適切行為214件につきましては、2024年4月25日を持ちまして、すべての是正が完了しました。
- 安全性につきましては、自社検査や自社評価により当社として全ての不適切行為事案で影響がなかったと判断しておりますが、最終的にお客様に説明のうえ、ご判断いただくよう進めております。

| 説明状況 | 対象 | 説明済 | (うち) ご了承済 |
|-----------------|--------|--------|--------------|
| お客様数 (延べ会社数) | 4,106社 | 4,106社 | 4,104社 (99%) |

(2024年12月10日付)

- お客様への説明を引き続き真摯に対応してまいります。

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

(1) 従業員説明

(2) 顧客説明

(3) 責任の所在

(4) 未調査事業所の調査

2. 経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化

(2) 当社とグループ会社の関係再構築

(3) グループでの経営課題・リスクへの対処

(4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応

(5) 品質保証体制の再構築

① 当社品質保証体制の強化

② 品質監査の強化

③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備

④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合

⑤ 品質保証機能への経営資源投下

(6) 不断の検証

(7) 当社取締役会による監督強化

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

(7) 外部リソースの活用

再発防止策概要

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗（2024年12月版）」をご参照ください。

【進捗状況凡例】 「実施中」対策を開始し実施中、今後範囲・定着状況確認（16項目）
「検討中」対策の方向性・内容等を検討中（1項目）

【完了目標】 見直し・更新・訂正した項目を **オレンジ色** にて記載

経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 -グループ連携の強化-

【進捗状況】

【完了目標】

子会社のグルーピング

実施中

2025年3月

(5) 品質保証体制の再構築

③ **グループ全体での品質保証体制の強化と整備**
体制・ルールの整備

実施中

2025年3月

⑤ **品質保証機能への経営資源投下**
適正人員の把握の指導・支援
検査機器の自動化推進

実施中
実施中

2025年3月
2025年3月

(6) 不断の検証

再発防止策の検証

進捗管理および効果検証、進捗状況の公表

実施中

2026年3月

| (7) 当社取締役会による監督強化 | 【進捗状況】 | 【完了目標】 |
|-----------------------------|------------|--------------------|
| 計画的な後継者育成・登用 取締役会運営面での改善 | 実施中 実施中 | 2025年6月 2025年6月 |

内部統制機能の強化

| (2) 企業風土の改革 | | |
|---|--------------------------|--|
| ② 新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） 浸透、定着のモニタリング（匿名従業員サーベイ3回目以降） ③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） ④ 企業風土改革のモニタリング 匿名従業員サーベイ（3回目以降） | 実施中 実施中 実施中 実施中 | 2026年3月 2026年3月 2026年3月 2026年3月 |
| (3) 情報の報告・連携の強化 | | |
| ① 声を上げる会議（拠点長会議） ② 社長と従業員の対話（職場行脚） ③ コンプライアンス・ミーティングの活性化 ⑥ 管理職への研修強化（学習管理システム導入等、e-ラーニング開始） | 実施中 実施中 実施中 実施中 | 2026年3月 2026年3月 2025年9月 2025年3月 |
| (5) 内部監査部門の強化 | | |
| 第3ラインによる第1・第2ラインの監査 | 実施中 | 2026年3月 |

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

(1) 従業員説明

(2) 顧客説明

(3) 責任の所在

(4) 未調査事業所の調査

2. 経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化

(2) 当社とグループ会社の関係再構築

(3) グループでの経営課題・リスクへの対処

(4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応

(5) 品質保証体制の再構築

① 当社品質保証体制の強化

② 品質監査の強化

③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備

④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合

⑤ 品質保証機能への経営資源投下

(6) 不断の検証

(7) 当社取締役会による監督強化

2023年6月～2024年12月 取組み内容

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

(7) 外部リソースの活用

再発防止 【経営改革の推進(5)品質保証体制の再構築①】

① 当社品質保証体制の強化

Before

After

品質優先の姿勢を明確にして実践中

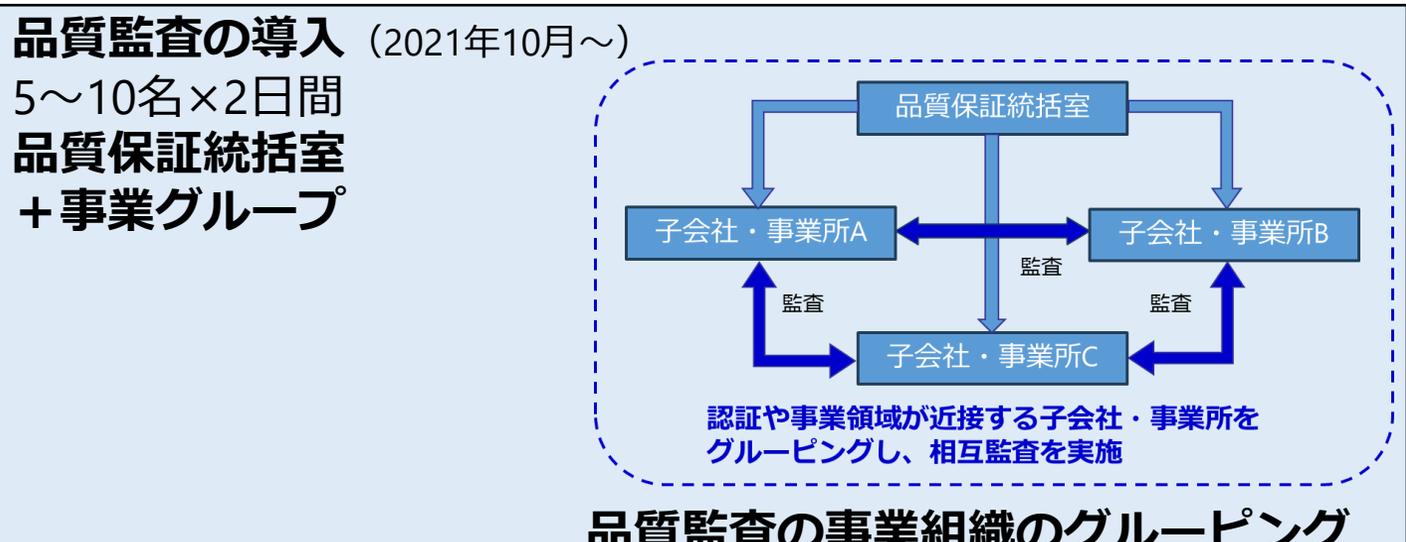
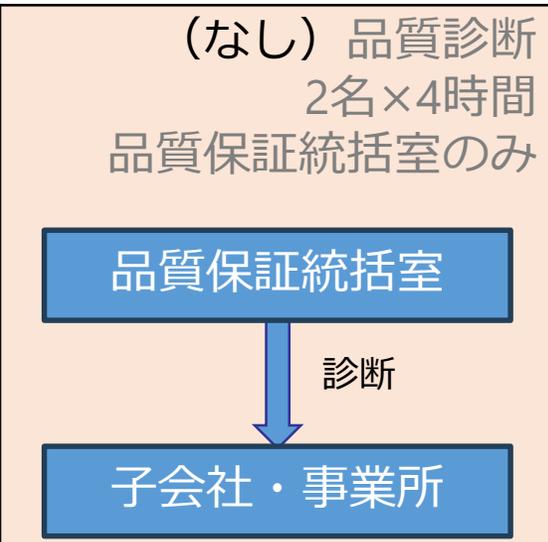
| | | | |
|----------------------------|--------------------|--|--|
| 事業管掌役員の兼務 | 品質保証統括室長 | 専任役員 (2023年3月29日～) |  <p>講習・教育</p> |
| (なし) | 品質保証統括室長 サポート体制 | 外部アドバイザースタッフの登用 (2023年5月～) (体制再構築のサポート、不適切行為の是正処置内容の確認・助言・指導、当社グループ全体の対策についての助言・指導) | |
| 委員長:品質保証統括室長 委員:品質保証部門長 | 品質委員会 | 品質問題を全社的に取り組む体制へ (2022年4月～) 委員長:NLMHD社長 委員:事業責任者(事業部長・子会社社長) | |
| (なし) | 品質保証 実務担当者会議 | 品質保証部門長を実務担当者として年4回実施 (2022年4月～) | |
| (なし) | レポートラインの 複線化 | 社外取締役・監査役への重大品質問題速報の報告 (2023年6月～) | |
| (なし) | 月次の情報共有 | 品質月報による品質委員・実務担当者への情報共有 (2023年8月～) | |
| (なし) | 各社・部門担当制 | 各社・事業部門に品質保証統括室員の担当割当 (2024年1月～) | |

再発防止 【経営改革の推進(5)品質保証体制の再構築②③】

②品質監査の強化 ③グループ全体での品質保証体制の強化と整備

Before

After



品質監査の事業組織のグルーピング

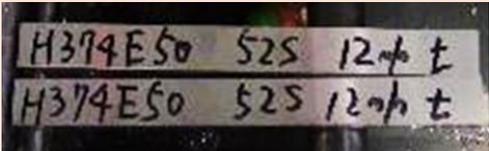
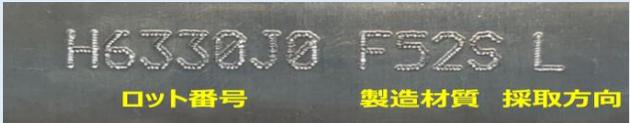
【参考】経営改革の推進 事業組織のグルーピング

| 社長 | 事業グループ(新体制) | 構成する子会社・事業部 |
|----|-----------------|-------------------------|
| | ■化成品事業グループ | 日軽金・化成品グループ、日本電極 他 |
| | ■メタル事業グループ | 日軽金・メタル事業部、日軽エムシーアルミ 他 |
| | ■軽圧事業グループ | 日軽金・板事業部、日軽金アクト 他 |
| | ■エンジニアリング事業グループ | 日軽パネルシステム、日軽エンジニアリング 他 |
| | ■輸送機器事業グループ | 日本フルーフ 他 |
| | ■自動車部品事業グループ | 日軽金ALMO 他 |
| | ■インフラ事業グループ | 日軽金・蒲原製造所/苫小牧製造所、日軽物流 他 |
| | ■箔事業グループ | 東洋アルミニウム 他 |

| JIS監査 | ISO監査 | | |
|---|---|--|---|
| JIS 名古屋工場 日軽金アクト 日軽新潟 日軽蒲原 日軽形材 理研軽金属工業 日軽産業(心線部) | ①ALMO 日軽金ALMO 日軽金ALMO蒲原工場 鍛造製品課 日軽金ALMO蒲原工場 熱文製品課 日軽松尾 | ②化成品・電極 清水工場 蒲原ケミカル工場 日本電極 | ③パネル・フルーフ NLMエカル 日軽パネルシステム 日本フルーフ 日軽メタル福沢工場 |
| | ④建材 日軽エンジニアリング 船橋工場 エヌティーシー 日軽北海道 | ⑤メタル 蒲原鍛造工場 日軽エムシーアルミ アルミニウム線材 | ⑥電箔・電材 蒲原電極箔工場 蒲原電材センター 東陽理化学研究所 日軽メタル川越工場 東洋アルミニウム |

再発防止 【経営改革の推進(5)品質保証体制の再構築⑤】

⑤ 品質保証機能への経営資源投下の事例

| Before | After | |
|---|--|---|
| <p>採取方向を手書</p>  | <p>日本軽金属 名古屋工場 JIS試験片採取方向 厳守</p> | <p>方向を検知する刻印機での打刻</p>  <p>ロット番号 製造材質 採取方向</p>  <p>方位検出センサ</p>  <p>ランプ点灯で刻印可否、エラー状態は作業者に気づかせる</p> |
| <p>試験結果を手入力</p> | <p>日本軽金属 名古屋工場 引張試験結果 改ざん防止</p> | <p>システム化による試験結果の自動転送</p> |
| <p>デジタル化・効率化</p> | <p>DX技術の定着</p> | <p>共通化 ➡ 組織化・最適化</p> |
| <p>2007年度(基準)</p> | <p>品質保証統括室の 人員増</p> | <p>2024年12月 5倍 【専門的知見を有する経験者の採用】</p> |

2024年度に品質方針を全面見直し、会社として上位から「変えていく」姿勢を示すため

日本軽金属HDホームページ <https://www.nikkeikinholdings.co.jp/index.html>

「会社情報」に今まで明示していなかった「品質方針」ページを追加（2024年5月28日）



The screenshot shows the NLM website's navigation menu. The '会社情報' (Company Information) menu item is highlighted, and a sub-menu is visible containing '品質方針' (Quality Policy), which is highlighted with a red box and an arrow pointing to the right. Below the main menu, there are several icons representing different sections: '社長メッセージ' (Chairman's Message), '役員・組織図' (Officers/Organization Chart), '経営方針' (Business Policy), '沿革' (History), and '品質不適切行為に再発防止策の進捗について' (Regarding the progress of countermeasures against inappropriate quality behavior). The '品質方針' icon is also highlighted with a red box and an arrow pointing to the right.

日軽金グループ品質方針

◆ 品質理念

誠実で公正な事業を展開し、お客様の要求と期待を満たす製品・サービスを提供し続ける

◆ 品質方針

- 1 法令・品質基準・規格の共有と浸透
法令・品質基準・規格を正しく共有し、従業員一人一人が品質を担う人材になることを推進する
- 2 協働
品質に係る課題を効果的に解決するため、グループ横断組織にて対応する
- 3 品質・安全性の確保
開発から量産・アフターサービスにおいて、5ゲンを徹底し、品質ワンフレーズ「正直になろう。正直にやろう。」に基づき、品質・安全性の確保に取り組む

(制定・改定)

改定：令和6年4月1日

全社員向けの品質教育・講演の実績

| # | 年度 | 日付 | 場所 | 講師 | 講演名 |
|----|--------|-------------|-------|------------------|--------------------|
| 1 | 2021年度 | 2021年11月30日 | オンライン | 外部講師 | 行動科学の視点から倫理学を考える |
| 2 | | 2021年12月7日 | | | |
| 3 | | 2021年12月23日 | | | |
| 4 | 2022年度 | 2022年11月29日 | オンライン | 外部講師 | 品質コンプライアンス講演 |
| 5 | | 2022年12月12日 | | | |
| 6 | 2023年度 | 2023年8月7日 | オンライン | 外部講師 | 違反事例から学ぶコンプラアライアンス |
| 7 | | 2024年3月15日 | 拠点長会議 | 外部講師 | 品質コンプライアンス講演 |
| 8 | | 2024年3月18日 | | | |
| 9 | 2024年度 | 2024年8月21日 | オンライン | 外部講師 | 品質不正・不祥事防止 |
| 10 | | 2024年10月9日 | 拠点長会議 | 外部アドバイザー スタッフ | 品質確保と未然防止 |
| 11 | | 2024年10月18日 | | | |

忌憚なく声をあげられる風土づくり（継続中）

● 拠点長会議の実施



| | |
|------|---|
| 実施者 | 社長・取締役 |
| 対象 | 拠点長（※） |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を上げる場） 経営者と拠点長の情報・意見交換 拠点長からの現場の現況報告 拠点長による職場への伝達（拠点長400名×20名/職場 = 8000名） 拠点長間の繋がり活性化 |
| 計画 | 200名/回 × 2回/月 |
| 参加人数 | 2024年4月～12月 2,462名 2023年度 3,637名 累計 6,099名 |

● 職場行脚の実施



| | |
|--------------|--|
| 実施者 | 社長・取締役 |
| 対象 | 従業員（拠点長除く） |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を聴く場） 経営者と従業員の直接対話 経営者の意思、熱意の伝達 従業員、職場実態への理解深耕 従業員間の繋がり活性化 |
| 計画 | 20名/回 × 400回 = 8,000 名 |
| 開催回数 参加人数 | 2024年4月～12月 56回 1,108名 2023年度 86回 1,542名 累計 142回 2,650名 |

※工場長、支店長、営業所長のほか、従業員20名以上の拠点については20名ごとに1名の代表者

- 再発防止の取組みの進捗状況につきましては、当社ホームページを通じて今後も継続的に公表させていただきます。
- 再発防止を着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復にグループを挙げて取り組んでまいります。